

過去の出題傾向について確認しておこう！

九大入試研究[国語(文)]

▶ 出題一覧表

過去 10 年の九州大学(文)の入学試験で出題された文章の出典を次の表にまとめた。

	一 現代文	二 古文	三 古文	四 漢文
2016	『賭博／偶然の哲学』 檜垣立哉	『有明の別れ』	『弁内侍日記』	『郁離子』 劉基
2015	『私の歌舞伎遍歴』 渡辺保	『平家公達草紙』	『源氏物語』「胡蝶」 紫式部	『涑水記聞』 司馬光
2014	『生き方と哲学』 鬼界彰夫	『遊角筈別荘記』	『なぐさみ草』 正徹	『史記』扁鵲倉公列伝 司馬遷
2013	『悲劇の先駆者』 高橋和巳	『玉勝間』 本居宣長	『御伽草子』 「御曹子島渡」	『庸齋筆記』 薛福成
2012	『寝ながら学べる構造主義』 内田樹	『住吉物語』	『伽婢子』	『貞観政要』 吳兢
2011	『旅学的な文体』 赤坂憲雄	『和泉式部日記』 和泉式部	『俳諧問答』 森川許六	『嘉樹山房集』 張士元
2010	『ネイションとの再会』 黒宮一太	『古事談抜書』	『大崎のつつじ』 石野広通	『説苑』 劉向
2009	『世界史の臨界』 西谷修	『撰集抄』	『浮世物語』 浅井了意	『李氏山房藏書記』 蘇軾
2008	『松に聞け—現代文明へのレクイエム』 藤田省三	『兼好諸国物語』 閑寿	『増鏡』	『彪邨文集』 岡直養
2007	『責任と自由』 辻清明	『続古事談』	『語意考』 賀茂真淵	『白氏文集』 白居易

▶ 分析と対策

[現代文] 大問一つ 30 分と考え、記述問題の解答速度を上げる訓練が大切である。解答欄の大きさから 80 字程度や 120 字程度など、ある程度の字数を推測し、それに合わせた練習をしておきたい。取り組みやすい設問は満点を狙った解答作成を心がけてほしい。

[古文] 古文は、第二・三問とも解釈と文法問題が出題されているので、古典文法・古文単語の参考書・問題集を一冊仕上げておく。文学史は避けては通れない。そして記述問題集を使用して日頃から演習をしておくこと。和歌の修辞法や和歌独特の比喻表現などの対策も必要。

[漢文] 例年漢字の読みや文学（思想）史が頻出だったが、2015 年と 2016 年は文学史が出題されなかった。しかし、大きな特徴なので必ず準備しておきたい。書き下し問題、解釈問題は句法・語法のポイントが明確なものが多いので、句法などの土台の勉強は仕上げてから、過去問の演習に取り組みたい。